

平成24年度 能代市バスケの街づくり市民チャレンジ事業 認定事業一覧

申込者	①個人	②個人	③NBLM準備会
事業名	「バスケ・ウォーク・オブ・フェーム」製作の型どり試作品作り	「バスケの街能代」缶バッジ製作	能代バスケットロードフェスティバル
事業内容	アメリカにある「ハリウッド・ウォーク・オブ・フェーム」のバスケ版を製作し、能代の観光名所にしようという事業。 来年に向けて、今年準備段階として製作過程の試作研究を行う。	「バスケの街能代」をデザインした缶バッジを製作。 各種イベントでのPRに使用する。例えば健康フリースロー大会の参加賞として使用。能代カップの参加校にプレゼント。など。	バスケの街能代をバスケのみならず多様な視点から見つめ直し、地元能代を盛り上げるための祭を行う。 市内駅前～能代工高までをバスケットロードと位置づけ、約20拠点でブース出展・パフォーマンスを行う回遊型イベント。 メインターゲットは小中高生としつつ、老若男女が参加可能。 2日間開催で3,000人の人出を見込む。
無償スタッフ活動時間	120時間	204時間	150時間
補助申込金額	75千円	100千円	100千円
審査会の主な意見、改善の提案等	<ul style="list-style-type: none"> ・発想は面白いが、既にやることが決まっていて柔軟な対応ができないという印象がある。あくまでも試作の段階ということなので、同じものをたくさん作る試作ではなく、いろいろなバリエーションで作ってみる試作としていただきたい。 ・試作品作りは良いが、その後の設置等の展開においては、関係機関等との連携がないと難しいので、長い目で試作を繰り返しながら、より良い方向で実現してほしい。 ・立体的な手というのは、暗闇では気持ち悪いのではないかというマイナスの印象もあるので、可動式にするとか、シルエットだけにするなどの工夫が必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・缶バッジを作るだけだとどうかと思ったが、デザインを募集するなど市民の巻き込み方法等を工夫すれば良い形になるし、それを考えること自体にも意義がある。 ・バッジを付けること自体が意思表示になったり、アピールになったりするので、バスケの街を象徴するようなもの、バスケの街ならではのものとなるのが望ましい。同じ種類を1千個作るというよりは、いろいろな種類のものを作ってみてほしい。 ・大会ボランティア等でしか手に入らないなどのプレミア化も期待できるし、商品のおまけにするなどの工夫をすれば、他との連携も見込まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画自体は、バスケの理解度に応じてイベントが設定されており、対象も多様で好感が持てるが、現時点でスケジュール的に厳しいので、できるだけ実現してほしい。推進体制の構築と幅広い市民の巻き込みを期待する。 ・この事業をきっかけにさらに連携をしていくことで、毎年その日はバスケの祭り・フェスティバルということが実現できれば、大変良い取組になると思う。 ・バスケで賑わいを作るという構想の中で、一過性のもので終わらせず、継続していくためには、9月に事業が終了した後、次年度に向けた情報発信が大事だと思う。